

支援プログラム

作成日 2024年 7月 1日

事業所名		多機能型事業所 たねのね 			
事業所理念		たねのねでは、遊びを通じた療育活動により、お子さまの生きる力（たくてしなやかなねっこ）をゆっくと丁寧に育てています。すべての子どもたちが自分らしく豊かに暮らしていけるようにという理念のもと、どのような障がい、個性をもっていても、楽しく自然や仲間と触れ合い、適切な療育を行うことで感覚機能を高めしていきます。			
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> • お子さまの発達段階に沿った個別の関わりを大切にしています • お子さまが伸び伸びと持っている力を発揮し、自分で考え発信していく力につながる取組を行います • 「楽しんで取り組む」ことで自然と「できた！」が増えていくような関わりを目指しています • ご家族の気持ちや思いに寄り添いながらサービスの幅を広げていきます 			
営業時間		9時 0分	から	18時 0分	まで
		送迎実施の有無		あり	
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	来所後すぐに健康状態の把握を行います。外遊びや集団遊びを通して、適度に体を動かすことで健康の増進につなげていきます。基本的な生活スキル（食事、排泄、姿勢の保持、挨拶、お手伝い等）の習得を目指して個別の支援、環境設定を行います。			
	運動・感覚	感覚の特性に対して個別に配慮を行いながら、遊びや活動を通して様々な体の感覚の成長を促していきます。感覚統合につながるよう、歩く、走る、跳ぶ、回る、揺れる、触れ合、昇り降り等の感覚遊びを多く取り入れます。見る、聞く力につながるよう、活動の中に共同注視や模倣の場面を多く設定しています。楽しみながら取り組むことで、集中して取り組む力につなげていきます。			
	認知・行動	挨拶の時間に日付や時間の確認を視覚的な提示と共に行い、時間や数などの概念形成につなげていきます。情緒の安定や場面に合った適切な行動の選択につながるよう、選択肢の提示を行い自分で考え行動できる力につなげていきます。誤学習につながらないよう、場面に合った個別の対応を大切に取組んでいます。			
	言語コミュニケーション	困り感のある時には、要求や応答など場面に合った言葉で他者に気持ちを伝えることができるよう個別に取り組みを行います。発信できる方法や言葉（指さしやジェスチャー、絵カードや感情カード等も含め）が増えていくよう、発信を丁寧にすくい取り応答していきやり取りを重ね、気持ちを伝える手段を獲得していきます。			
	人間関係社会性	発達の状態を把握しながら、安心できる他者とのアタッチメントの機会を設定していきます。他者との関わりが楽しいと思えるよう、発信を受け止め十分に気持ちをくみ取ることが大切になっています。自分の感情に気づくことができるよう、感情にひたりとあてはまる言葉があることを関わりの中で反復して伝えていきます。一人遊びから、他者との共同あそびや楽しい関わりにつながるよう、ルールやお約束、関わり方を提案していきます。			
家族支援	家族からの相談に対して、お話をじっくりと聞くことを大切にしています。適切な助言や提案ができるよう、スタッフの資質の向上に取り組んでいます。定期的に保護者面談、保護者会を行い発達に対する不安や課題の聞き取りを行います。	移行支援	幼稚園や保育所、認定こども園へ訪問を行い、課題や取組に対する情報の共有、受入れの体制に対する方法の提案を行います。家族の方に対して、移行先に対する情報の提供や移行先での合理的配慮等の環境の調整の提案を行います。		
地域支援・地域連携	保育所等訪問支援を行っています。適切な支援につながるよう、必要に応じて、医療機関、児童相談所、保育所や教育機関等の専門機関との連携を行っています。児童発達支援連絡協議会に参加しています。	職員の質の向上	定期的に職場内研修、職場外研修に参加しています。発達の段階に沿った適切な対応や関わりにつながるよう、毎日振り返りの時間を設定し意見交換を行っています。資格取得に対して、補助金制度を設定し積極的な取得に取り組んでいます。		
主な行事等	季節に応じた活動の内容を設定しています。外遊び（プール遊び、雪遊び、落ち葉拾い、ハイキング等）公共の施設へのお出かけを定期的に行い、公共の場でのルールやお約束を少しずつ覚えていきます。				